

国語 正答例

① ㉞ 1 構図

㉟ 姿

② 2

③ 2 3

④ 北斎の版画は、手前の人間が小さく描かれているのに対して、遠くにある富士が大きく描かれているということ。

⑤ 山そのものを神体とみなす観念

⑥ 4

① ㉑ 2 しぼ

㉒ しいて

② 気がつけば

③ 1

④ 3

⑤ 次々古本を読む中で、読書が素晴らしい体験であることや、古本に残された痕跡を通して、知らない誰かとの時を越えた出会いを味わえることを実感している。

⑥ この文章は視点が固定された小説であるから、貴子が考えたこと、感じたことについては語られるが、叔父の内面については想像でしか語られないという特徴がある。

① 3 4

② 省略

③ 1

① 4 2

② 舟歌などの労働歌

③ 女の私もしてみよう

④ 貫之の『千住日記』は、ほとんどの仮名で書かれ、歌が満載で、個人的な感情をさらけだし、一編にひとつのまとまりがあるものでした。男が仮名を使う習慣がなかった時代に堂々と仮名で日記を書くため、貫之は女性を装って書いたのです。